

## スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに関する補足説明

県連盟コミッショナー 片寄 朗

### 1. 夏季までキャンプや宿泊を伴う活動の自粛について

現時点において、8月末までに実施を予定している舎営やキャンプは、日本連盟からの要請にもとづき延期もしくは中止をお願い致します。感染及び感染拡大が収束に向かっていたとしても、今後第2、第3の感染及び感染拡大の可能性があります。特に舎営やキャンプはいわゆる「三密」の状態が生じやすい環境です。スカウト、指導者、関係者の安全・安心を守ることが最優先ですので、ご理解願います。

### 2. スカウト活動実施の可否について

千葉県連盟の区分は「感染観察」を適用します。

ただし、地域における状況、動向にも注意を払ってください。なお、状況を見極めながら区分の見直しを行い、変更があった場合には速やかにお知らせします。

(1) ガイドラインの「5スカウト活動実施の可否」に示している、都道府県を感染状況に応じての「特定警戒」「感染拡大注意」「感染観察」とする3つの区分について

(ア) ガイドライン5.C「学校の対応状況の把握」に示されている「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22 Ver.1)」の「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準を確認ください。

(イ) 2. 地域ごとの行動基準(7ページ)に示された「学校の行動基準」のレベル1、レベル2、レベル3を、活動判断Ⅰ、Ⅱ、Ⅲとして考えてください。学校の判断は教育委員会が行っています。

(2) 学校の状況について

地域の学校の様子は、スカウト活動を再開する上で重要な判断材料になります。保護者などからの情報収集により、スカウトが通う学校の通学の状況、学校行事(運動会、文化祭、宿泊行事等)などの把握に努めてください。

なお、教育委員会などへの問い合わせは、各団がそれぞれ行うと業務に支障を与えることとなりますので、必要に応じて地区コミッショナーが行い地区内への情報提供を行いません。

### 3. スカウト活動実施の判断

ガイドラインの3ページに示されたとおり、「感染観察」が最も制限が少ない区分ですが、感染状況が収束したわけではありません。そのため、活動の再開にあたっては新しい生活様式への徹底した対応が求められます。移動についての配慮、参加人数や会場の関係なども十分に安全管理する必要があります。そこでスカウト活動実施の可否については、活動の内容にあわせて「感染観察」では2段階(ⅠとⅡ)で判断をしてください。

活動の実施にあたり、新しい生活様式に対応するためのガイドラインに示された感染防止措置を取ってください。あわせて、活動地域の感染状況と自治体の要請の有無、使用する施設の対応状況、参加者と保護者の理解、活動実施体制の対応の可否を含めた条件での総合的な検討を充分に行い、団委員長が判断してください。

※不明な点は、地区コミッショナー経由で県連盟コミッショナー片寄までお問い合わせ願います。

以 上